

第53回技能五輪全国大会Q & A

競技主査 高野雅一

1. 持参する工具箱の要領が若干 1 m^3 を超えてよいのか。

回答：第52回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具一覧表のページに工具箱の大きさは 1 m^3 前後と明記しております。著しく大きいものは不可です。

2. 置引きの残土を入れる取舟(小)を使わずに、持参した容器を使用してよいのか。

回答：かまいません。持参して使用して下さい。

3. モールディング加工及び切断補修等に使用するため作成した小型の作業板等を持参してよいのか。

回答：持ち込みは不可です。定規等を持参して、競技場の作業台に取付けるなど、現地で作成して下さい。

なお、鉄板加工を作成する作業板は持参してもかまいません。

4. 引き型作成用に支給される鉄板の材質は何ですか。

回答：アルミニウムと亜鉛合金メッキ鋼板にポリエステル樹脂系塗料を焼き付けした 0.4 mm 厚の塗装合板です。

5. モジュール1の墨だし作業で、モールディングAとBの取付け墨を出すとき、出留めの部分は型どおりに墨を出すのか。

回答：従来どおり、型の巾と長さを出した後、上下に斜線を引いて下さい。中間は出さなくともかまいません。

6. 置引き製作時、引き型と同じ寸法で作製した、かいこみ定規を前後に取付けて作業してよいのか。〔置引きを取り外すと留めの部分ができあがっている。〕

回答：モジュール1の作業説明の中で、すべてのモールディングは焼き石膏、置引き仕上げとする。と明記しております。留め部分は作製したモールディングを切断して接合、補修して仕上げて下さい。型どおりに作成した定規類をかいこんで仕上げ面を作ることは禁止です。

7. 競技課題の石膏ボード下地板に打ち込んだ千枚通しの穴はうめるのか。

回答：石膏ボード面は仕上がりです。うめて下さい。

8. 支給した置引き用アルミ定規に穴をあけてよいのか。

回答：穴はあけずに両端を止めて使用して下さい。

9. 袖壁部の軽量鉄骨組み立ては作業台の上で組み立てて競技課題に取り付けてよいのか。

回答（競技課題に袖壁部の取り付け墨を出し、ランナ及びスタッフを一本ずつ取り付けて下さい。作業台の上で組み立てて取り付けることは禁止です。）